

銀漢亭日録

伊藤伊那男

16日(月)

▼数句会の選句。あと今日は休養日。梨がうまい。
9月10日(火) ▼以前、肘折温泉の朝市で買った切干し大根を煮る。

昼、有楽町朝日ホール。「第63回全国俳句大会」。控室で多くの俳人と挨拶。加古宗也さんから、先師富田潮兒さんについての話を聞き感銘を受ける。十八歳で失明、しかし新聞事業を起こし、百二歳まで俳句を作り続けた生涯と。修了後、山田真砂年さんと喫茶「上島珈琲店」にて話。通信、雑用あれこれ。砂肝の黒胡椒炒め、南瓜煮。桃。

11日(水) ▼昼、鎌倉の同人、中野義司さん、成城に来られ、駅前の「上島珈琲店」にて話。

店で人々、近況話。アイスクリームが二つ入った餡蜜。怖いくらい甘い。夜、天為発行所にて「火の会」、一人。

12日(木)

▼「銀漢」十一月号のエッセイ類執筆。十三回目の抗癌剤服用、今日まで。

13日(金) ▼「俳句てふてふ」の食の歳時記(柿・蜂の子)のエッセイ、今井竜さんに送る。久々、農家を訪ね、冬瓜、モロヘイヤを入れ手。梨、桃がうまい。冬瓜汁。モロヘイヤのお浸し。

14日(土) ▼昼、新宿京王プラザホテル「扇の間」。辻村麻乃さんの「篠」の「創刊四十周年記念祝賀会」。来賓含めほか百二十人程の盛大な会。能登の僧侶、市堀玉宗、星野高士、石井隆司さんなどと話。フルコースの料理全部食す。肉も久々! 十五時、発行所にて「銀漢」運営委員会。八人。資金繰りの事など。

15日(日) ▼来年、伊那の「井月俳句大会」についての運営に関する試案を北村監督、平澤、大野田、坂下氏に投函。嬬恋村から到来の鎌原胡瓜、茗荷を浅漬に。トマト旨い。梨。

16日(月)

▼最近の朝食例。ブチトマト、モロヘイヤのお浸し、大根おろし、胡瓜と茗荷の浅漬、冬瓜汁、ごはん、ちりめん山椒、海苔。十二時より神保町の「日本出版クラブ会館」宴会場にて、森羽久衣句集『匙のうら』出版記念会。百十人ほどの銀漢、超結社の方々が参集。私が祝辞、(表裏無く匙の働く氷水)の色紙を渡す。初めから色々な出し物があり終始、笑いの渦の二時間。あとカラオケ店の第二次会に四、五十人。あと居酒屋に二十数名……。

17日(火)

▼十時、順天堂医院、M.R.I.検査。午前中に終わる。散歩がてら歩いて神保町。郵便局にて「銀漢」の資金移動。検査は疲れ。春雨のま煮を作るが、「銀漢亭」時代の味にならず、残念。数句会の選句。梨。

18日(水)

▼十一時半、岩野歯科クリニックにて定期検診。歯磨き方法丁寧に教えて貰う。十三時、加々美さん整体。久々、春雨のま煮を作るが、「銀漢亭」時代の味にならず、残念。数句会の選句。梨。

19日(木)

▼十時、三田専元ビル「慶太俳句丘の会」。午前中、運営委員会。昼、麦となる定食を戴く。十三時から句会。十六時半より国立天文台。日江井榮二郎先生の特別講演「星に魅せられて」を拝聴。九十三歳ながら豊饒たる足運びと語り口に力を戴く。途中で退席し、十八時二十分、麹町会館にて「銀漢句会」。二十一時まで。あと中華店にて懇親会。二十三時過帰宅。

20日(金)

▼数句会の選句。農家の野菜買出し。モロヘイヤ、甘唐辛子、冬瓜、枝豆。仕込みに時間取られる。今日から十四回目の抗癌剤服用へ。T.S.1朝夜二錠。

21日(土)

▼終日、「銀漢」十一月号の選句。焼いた甘唐辛子が旨い。冬瓜を味噌仕立ての汁に。

22日(日)

▼十一月号の選句及び選評。担当の大溝、朽木、有賀さん

23日(月)

▼農家の野菜買いに。モロヘイヤ五袋、オクラ四袋、大根の間引菜一袋で千五百円。モロヘイヤ一袋おまけを貰う。戻つて下処理。彗星集の選句選評を辻本理恵さんに投函し、十一月号の原稿全て終了。数日間はのんびりできる。

24日(火)

▼十一時前、順天堂医院。齋浦先生と十一時面談の予定が三時間待ち。先日のMRI検査の結果は肝臓に腫れがあり、転移かどうか不明。二ヶ月後に超音波検査と……。不安な二ヶ月を過ごさねばならない……。薬待ちに二時間。十七時過、日暮里の蕎麦店「川むら」に清人、るび、井蛙さんと待ち合わせ。十八時過、「雪月花」。小石ディ。今井肖子、望月周、うさぎ、まほ、小川洋、文子さん……。二十二時過、帰宅。「雪月花」に入ったのは一年振りか。まほさんから駒ヶ根市の「生月」の最中を戴く。懐かしい。病院で待つ間に、同人、田中敬子さんの『もの言うピストル』の原稿を通読、点検する。

25日(水)

▼田中敬子さんに原稿を返送。十三時、仙川の「星乃珈琲店」にて調布「アカデミー愛とぴあ」の俳句講座の世話役、宝田氏と十月の公開講座について打合せ。あと新高円寺に出て、ブックオフで本を物色。「ドトールコーヒーハウス」にて三句会の選句、選評他、雑用をこなす。雨となる。十八時、「清見寺」にて三輪初子さんの夫君、晁さんの通夜。阿佐ヶ谷の「チャンピオン」のオナーシエフで、元プロボクサー。筋の通つた生き方をされた方であった。清めの席で守屋明俊氏と話。

26日(木) ▼十四時、新宿の北村監督事務所。来年の「井月俳句大会」についての打合せ。北村、平澤、大野田氏。あと大野田氏と「三平食堂」。鮎の塩焼がうまい。帰宅して梨、柿、シャインマスカットなど。